

神戸大学大学院経営学研究科 Ph.D. コースガイダンス (前期課程・後期課程)

2026年4月3日
副研究科長・大学院教務委員
松井 建二

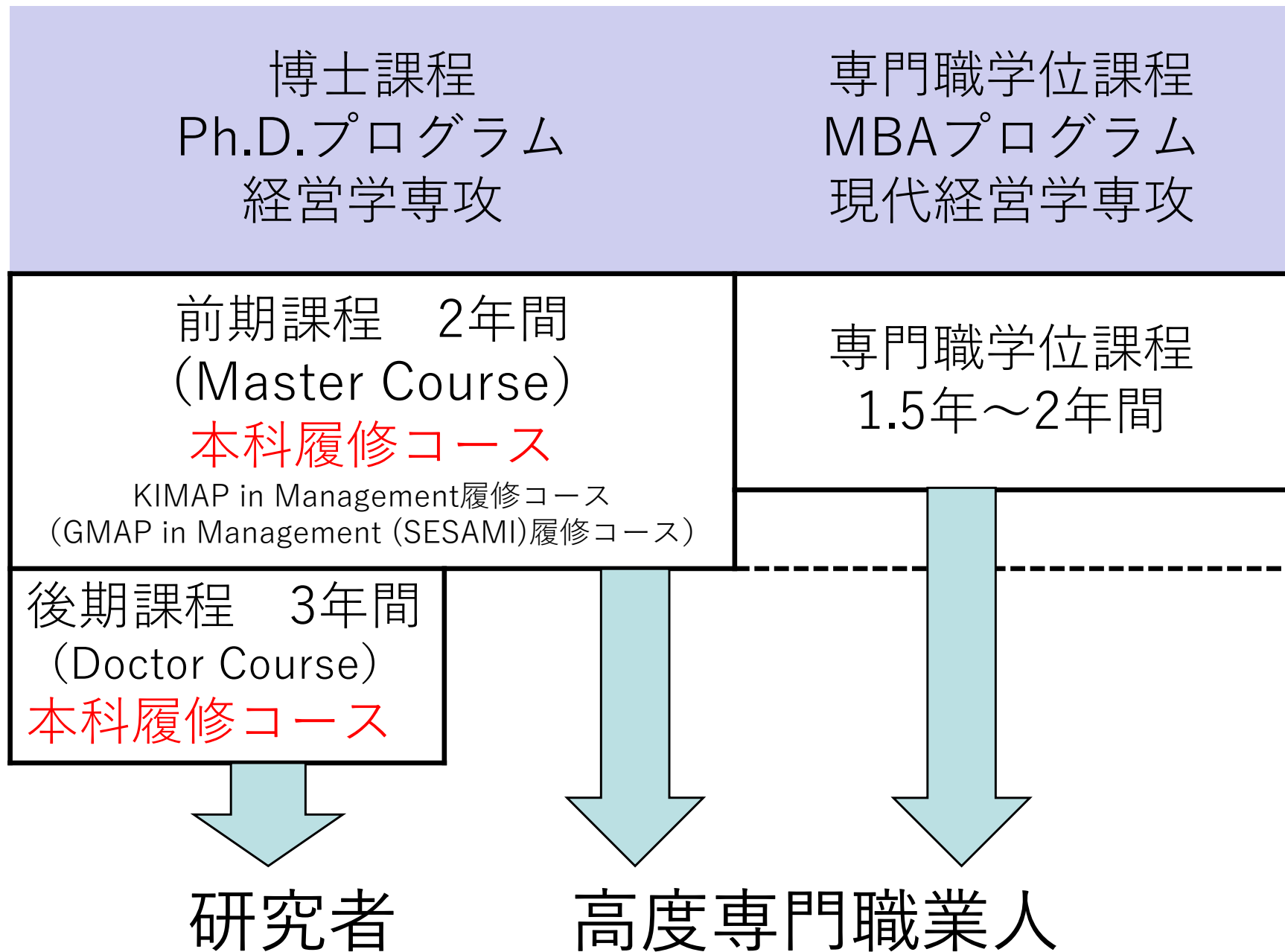
学生便覧

博士前期課程（マスター）入学者は2026年度版

博士後期課程（ドクター）入進学者は2024年度版

- 本資料内でページ数を記載（ただし、参照する年度に注意）
- 2021年度からウェブページ版のみで印刷版はありません
- <https://b.kobe-u.ac.jp/handbooks/>
- 学生と大学の契約書
- 本資料と学生便覧の内容に齟齬があった場合は学生便覧の内容を優先

経営学研究科の構成



本科履修コースと特別プログラムコース

- 本科履修コース（Ph.D.コース）
 - 皆さんの入学したコース（これから説明）
- KIMAP in Management履修コース（2023年10月開始）
 - 2023年9月まではGMAP in Management (SESAMI)プログラム履修コース
 - 海外提携大学研究者との共同で、すべて英語で講義がなされる一般とは別体系のコース
 - 本科履修コースの人でも履修可（許可必要）
（『2026年度便覧』202頁～／『2024年度便覧』220頁～
およびコースホームページ参照）

博士への道

	講義	総合学力試験	博士候補者資格論文	修士論文	博士論文
M1	第1群～第8群 計30単位以上	M2の8月までに 第1群1科目 第2群1科目		10月論題提出 1月提出 2月審査・試験 進学可の判定	
M2					
D1	4～12月 論文作成セミナー 演習	D3の8月 までに 第1群2科目 第2群1科目	10・4月論題 1・6月提出 2・7月審査		
D2	4～12月 博士候補者ワークショップ 演習				
D3	演習		D3の6月 提出まで 可能		10月論題提出 12月発表会・仮 審査 1月提出 2月審査・試験

Ph.D.コースの教育目標

- 広義の経営学（経営学（狭義）・会計学・商学）の全般ならびに関連する基礎的な学問分野の理論について高度な専門知識をもち、
- 経営学のある特定分野においてさらに深い専門知識に精通し、
- 当該分野において独創的な研究をおこなうことができる
科学的方法論を修得した

人材の育成

『2026年度便覧』 8頁
『2024年度便覧』 8頁

前期課程の教育体系

講義科目 (コースワーク)

- 第1群 (4単位以上)
- 第2群 (2単位以上)
- 第3群 (2単位以上)
- 合計18単位以上
(第5群, 第8群を含める)

指導教員の履修指導に従うこと

演習 (ゼミ)

- 第6群 (12単位)
- 研究指導教員の指導のもとで修士論文を執筆

(『2026年度便覧』 191頁)

第1群：特論科目

- 4単位以上

経営学研究に必要な各分野の専門的な基礎知識について講義することをねらいとして、毎年開講されている授業科目

- 経営学分野

- 経営管理特論，経営制度特論，決定分析特論

- 会計学分野

- 財務会計特論，会計制度特論，管理会計特論

- 商学分野

- マーケティング特論，ファイナンス特論

- 市場経済分析特論

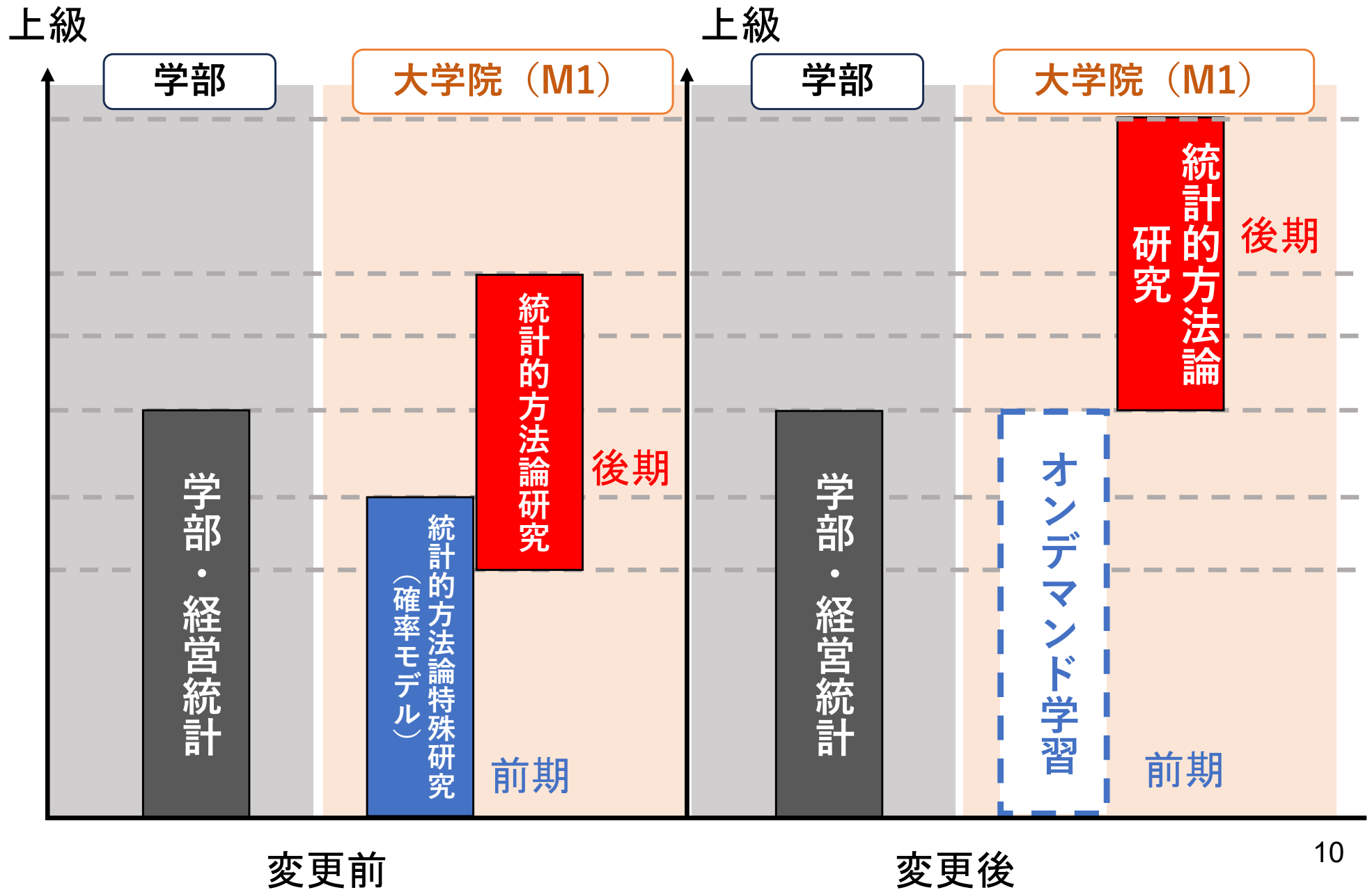
第2群：方法論科目

- 2単位以上

経営学研究に必要なとなる数学的・統計的・定性的な分析手法について講義することをねらいとして、毎年開講されている授業科目

- 数学的方法論研究
- 統計的方法論研究
- 定性的方法論研究

統計科目の変更



統計的方法論研究（2群科目：後期）

（統計的方法論特殊研究をはじめとするいくつかの）3群科目の内容を理解するために重要なトピックを学びます

1. 確率

期待値・分散の計算，多変量確率分布など

2. 統計

回帰分析の線形代数的表現，一般化線形モデル
推定量の性質，最尤法

3. 学習

統計的機械学習（教師あり学習，教師なし学習）
モデル評価（AIC, BIC, 交差検証法）

学部科目「経営統計」レベルの知識を前提に展開

⇒ オンデマンド学習のリソースを提供します

統計学プレースメントテスト

学部科目「経営統計」レベルの知識が十分であることを確認するためのテスト

- 「統計的方法論研究を受けるならばこれくらいの前提知識は欲しい」というレベルを設定しました。
- 受験は任意です。
- 問題および回答方法はMicrosoft Teamsにて掲示
 - チームコード: fm3j2c8
- 回答提出期間: 4月1日から4月21日

合格

最低限の水準は満たしているといえますが、わからない問題があった方は必要に応じてオンデマンド学習でキャッチアップすることをおすすめします。

不合格

最低限の水準に満たないため、このままでは講義内容についていけない可能性が極めて高いです。オンデマンド学習の受講を強く推奨します。

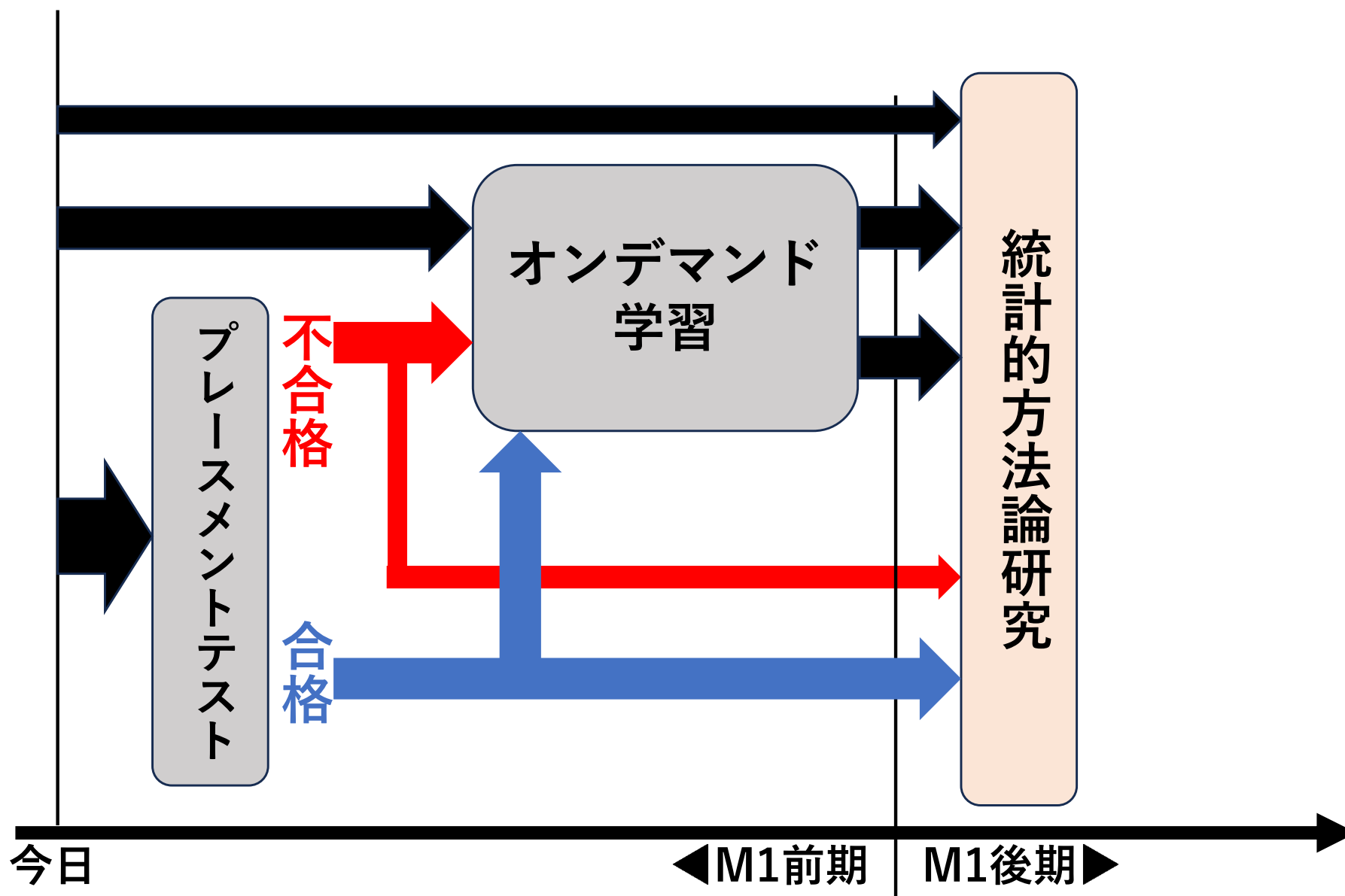
※オンデマンド学習の受講を強制するものではありません

学部の統計学復習のための オンデマンド学習（前期）

学部科目「経営統計」レベルの知識が不足している方・不安な方のために自習のリソースを提供

- 正式な講義としての開講ではありません
 - したがって、単位認定はありません。受講は任意です。
- ※プレースメントテストを受けなくても受講可能です。
- ※プレースメントテストの可否にかかわらず受講可能です。
- Microsoft Teamsにて以下のリソースを共有します
 - 昨年度の学部講義「経営統計」の録画
 - 学部講義「経営統計」の講義資料
 - 自習用の演習問題
 - 疑問点については質問を受け付けます
- チームコード： fm3j2c8

今後の流れ



第3群：特殊研究科目

2単位以上

- 第1群，第2群科目が講義する基礎的知識を補完
 - 第1群，第2群科目の内容に直接関わり，それを補助・補足．研究に必要な基礎的知識を教える
 - 専門分野ごとの先端的研究や個別的研究を教える発展的内容
- 修士論文の方向性を考えながら履修

なお，KIMAP in Management (SESAMI) 履修コースの科目を取得した場合は，第3群としてカウント

履修細則別表A注1（『2026年度便覧』191頁）

第5群：学部科目

- 他分野からの入学者等経営学の知識が不足していると思われる場合に、学部開講科目を大学院の科目として履修できる
- 受講には指導教員及び授業担当教員の許可が必要
- 修了に必要な単位に組み込まれるのは4単位まで、
かつ、第8群科目と合わせて6単位まで

履修細則別表A注1
(『2026年度便覧』 191頁)

第8群：専門職科目

ビジネスの現場に直結した実践的知識の応用科目
専門職学位課程（MBA）向け

- ケースプロジェクト研究，テーマプロジェクト研究および現代経営学演習を除いて6単位を上限として第3群科目の単位数に含める
 - 履修細則別表A注2（『2026年度便覧』191頁）
- 修了に必要な単位に組み込まれるのは，第5群科目と合わせて6単位まで
 - 履修細則別表A注5（『2026年度便覧』191頁）

特別プログラム

- 対話型ビジネス価値共創人材養成プログラム
(Business Value Co-Creation Program; BVCC)
- 経営データ科学教育プログラム（2026年開始）

履修プランの作成

- 『履修要綱』の「大学院博士課程の基礎的科目の体系と履修計画について」（8～21頁）を熟読すること

2026年度履修要綱（大学院生用）：経営学研究科ウェブページに掲載
<https://b.kobe-u.ac.jp/phd/>

- 履修にあたっては研究指導教員とよく相談

神戸大学大学院学経営学研究科

神戸経営データ科学特別学修プログラム

Kobe University Business Data Science Program

試行科目について

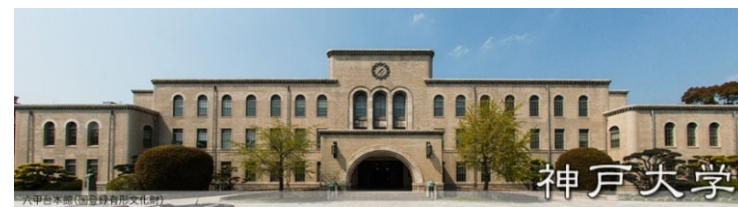
「修士DSP」は2026年10月に学部を3.5年で卒業して大学院に進学する学生から開始

2026年4月入学生は修士DSPの対象外という意味で「試行科目」

ただし、博士前期課程の科目でもあるため指導教員とも相談の上、積極的に履修してほしい

2026年4月3日

経営学研究科新入生オリエンテーション



神戸経営DSPとは

- 社会科学系では珍しい**5年一貫修士まで**の教育プログラム
 - ①経営データ科学5年一貫プログラム (通称「**5年一貫DSP**」) 修了
 - = ②学部DSP (学部プログラム) 修了 + 学部早期卒業(3.5年)
 - + ③修士DSP (修士プログラム) + 博士前期課程早期修了(1.5年)
 - [注]②, ③一方のみ、それぞれ4, 2年(以上)での修了、も可
 - » (ただし5年一貫DSP修了にはならない)

経営データ科学教育プログラム(神戸経営DSP)とは

- 経営学の理論に基づき、
- データの意味を理解し、
- データを用いて理論を検証し、
- 検証結果から実践的示唆を導き出せる

... 人材の輩出を目指すプログラム

単に統計分析ができるだけでなく、経営学を使ってデータを用いて経営を考えることのできる人材を輩出

神戸DSPとは

- 修得を目指す能力
- [1]課題設定能力
 - 経営学の知識に基づき、データを用いて解明すべき課題を自ら設定できる
- [2]データ整備能力
 - 企業等で日々の業務から得られる多種多様なデータを自ら収集し、整理して、分析可能な形にまで整備できる。
- [3]データ分析能力
 - 自らデータの特徴を理解してその意味を読み取り、統計学・データサイエンス等の分析手法を使って分析して結果を出せる。
- [4]データ解釈能力
 - 経営学の知識に基づき、分析された結果を解釈し、経営意思決定のための実践的示唆を導ける。

理系DS

神戸経営DSP(学部部分)

神戸経営DSP(学部+大学院)

神戸DSPとは

2026年度開講科目と配当		2026開講予定 (担当者)	単位 数	使用統計ソフト (演習科目)	DSP修 了要件	履修モデル（配当学年） (●配当年次、◎早期履修、○履修可能、△5年一貫DSP以外)												備考
						学部								修士				
						1 前	1 後	2 前	2 後	3 前	3 後	4 前	(4 後)	(1 前)	1 後	2 前	2 後	
学部 D S P	経営科学の基礎	宮原・服部	2		2単位			●		○								(DSP用科目ではないが修了要件)
	経営統計	分寺	2		2単位		●		○									
	経営数学	宮原	2		2単位			●		○							※：2024年度以降入学生はDSP必修	
	経営データ分析（プログラミング）	中島	1	R	1単位		4Q										※：2026年度以降入学生はDSP必修	
	経営データ分析（入門演習）	畠田	2	R	2単位			●										
	経営データ分析（各分野）（複数科目開講）		1or2	R	4単位以上													
	（経営管理）	原	2	R					●		○		△					
	（会計）	村宮・佐久間	2	R						●		○						
	（マーケティング）	—	2	R		—	—	—	—	●	—	◎	—	—	—	—	—	※：2026年度は不開講
	（ファイナンス）	本田	2	R					●		○		△					
	（エネルギー）	中島	2	R						●		○						
	【不動産】㈱三井住友トラスト基礎研究所寄付講義	本田他	1	R							●		△					
	（学部ゼミ）			要件外だが所属							●	●	●	△				
修士 D S P	統計的方法論研究	溝渕	2	R	2単位						◎				●		○	(DSP用科目ではないが修了要件(選択))
	統計的方法論特殊研究（各トピックス）		1or2		4単位以上													
	（因果推論）	溝渕	2	R							◎				●			
	（多変量解析）	分寺	2	R							◎				●			
	（ベイズ統計）	分寺	2	R(+stan)							◎				●		○	
	（非集計データ分析）	—	2	R		—	—	—	—	—	—	—	—	●	—	◎	※：2026年度は不開講	
	（時系列分析）	中島	2											●		○		
	経営データ分析特殊研究（各トピックス）		1or2	R or Python	4単位以上													
	（プログラミング）	中島	1	Python							◎集中		△集中		○集中			
	（M&Aデータ分析演習）	本田	2	R							◎				●		○	
	（AIによるESG評価演習）	國部・石野・中尾	2	Python											●		○	
	（テキストマイニング）	石野・内田	2	Python											●		○	
	（データ社会と経営）	藤原	1												●3Q		○3Q	
	（エネルギー）		2															
	（オープンデータ活用）(㈱マネーフォワード寄附講義)	原他	1	Python											●2月集中		○2月集中	
	大学院演習＋修士論文			要件外だが所属										△	●	●	●	
(注) ※：2024年度以降入学生は必修。																		

履修にあたって他の科目の単位修得が条件になっているものがあります。
シラバスを参照してください。

演習（ゼミ）

- 1人の研究指導教員を選び，その教員の研究室に所属する
ただし，希望の指導教員になるとは限らない
- 研究室（研究指導教員）単位で演習（ゼミ）が開講され
そこで論文（修士論文，博士候補者資格論文および博士
論文）指導が行われる
- 演習（ゼミ）は，通常その研究室に所属する大学院生の
全メンバーが参加

修士論文の執筆

- 論文題目の提出（M2の10月）
- 修士論文の提出（1月10日から20日）
- 修士論文最終試験（主査1名，副査2名）
（2月上旬）
 - ◆ 指導教員と密にコンタクトを取り，指導を受けること
 - 論文は通常のレポートとは全く違う
 - オリジナリティや学術的貢献が必要
 - 1か月，2か月でできるようなものではない
 - 毎日研究するのが普通
- 2年で提出できなかった場合
 - 次の年の7月に提出し，合格後9月に修了することも可能

修士論文の評価基準

1. 新しい経営学的知見を提供していること。
2. 論旨が明確かつ一貫し，構成の体系性が確保されていること。
3. 資料および先行研究の取扱いが適切であること。
4. 表現・表記法が適切であること。

（『2026年度便覧』 200頁）

前期課程修了・修士号

講義科目 (コースワーク)

- 第1群 (4単位以上)
- 第2群 (2単位以上)
- 第3群 (2単位以上)
- 合計18単位以上
(第5群, 第8群を含める)

指導教員の履修指導に従うこと

演習 (ゼミ)

- 第6群 (12単位)
- 研究指導教員の指導のもとで修士論文を執筆
- 修士論文の合格
 - 論文審査 + 最終試験 (口頭試問)

(『2026年度便覧』 191頁)
18条の2, 18条の3も参照
(『2026年度便覧』 177頁)

研究科規則25条 (『2026年度便覧』 178頁)
履修細則3条 (『2026年度便覧』 189頁)

博士への道

	講義	総合学力試験	博士候補者資格論文	修士論文	博士論文
M1	第1群～第8群 計30単位以上	M2の8月までに 第1群1科目 第2群1科目			
M2				10月論題提出 1月提出 2月審査・試験 進学可の判定	
D1	4～12月 論文作成セミナー 演習	D3の8月 までに 第1群2科目 第2群1科目	10・4月論題 1・6月提出 2・7月審査		
D2	4～12月 博士候補者ワークショップ 演習		D3の6月 提出まで 可能		
D3	演習				10月論題提出 12月発表会・仮 審査 1月提出 2月審査・試験

博士課程後期課程への進学

条件1：前期課程修了

条件2：総合学力試験合格（M2の8月の試験まで）

- 第1群1科目，第2群1科目合格
[基準]科目の内容を理解しているだけでなく，経営学研究者としてそれを使いこなす能力となっていること

条件3：修士論文の「後期進学合格」

- 修士論文審査時に判定
[基準]前期課程修了者が身につけているべき研究能力の水準を示しているだけでなく，博士号取得者となりうる能力を示すこと

総合学力試験

- 後期課程進学，博士論文提出のための十分な学力を有するかの判定のための試験
- 試験科目：第1群科目，第2群科目と同じ
- 年2回実施（8/9月と2/3月）
- 後期課程進学要件（1群科目1科目，2群科目1科目，以上をM2の8月の試験までに合格）
- 博士論文提出要件（1群科目2科目，2群科目1科目，3群科目博士候補者資格論文をD3の8月の試験までに合格）
- 有効期限は10年

後期課程の教育体系

- 授業（第4群） 必修

D1またはD2を想定：論文作成セミナー（1単位）

D2またはD3を想定：博士候補者ワークショップ（1単位）

- 演習 必修

研究指導教員が実施する演習（ゼミ）（8単位）

- その他

希望者は講義科目を聴講，単位修得することができる

履修・聴講いずれも研究指導教員の承認を得ること

博士課程後期課程修了・博士号

- 総合学力試験第3群：
 - 博士候補者資格論文試験（旧「第2論文」）
 - － 博士論文に向けての研究の経過を見る研究能力の審査
 - － 査読付論文で代替可能

↓
- 論文指導委員会（指導教員＋教員2名）を編成

↓
- 課程博士論文試験
 - － 課程博士論文の題目申請（10月上旬）
 - － 3名の審査委員による事前審査（11月下旬～12月中旬）
 - － 課程博士論文の提出（1月10日～20日）
 - － 3名の審査委員による論文審査＋最終試験（口頭試問）（2月上旬）
 - － [前提] 演習履修＋総合学力試験の第1群2科目，第2群1科目の合格＋博士候補者資格論文合格

博士候補者資格論文の代替

- 査読付論文の提出要件
 - ✓ 研究指導教員の承認
 - ✓ 査読雑誌に掲載されたか掲載が決定していること
 - ✓ 博士論文の専門分野に該当すること
 - ✓ 共著の場合は、主たる著者であることを他の共著者から認められていること
- 申請手続
 - ✓ 研究指導教員の許可を得た所定の申請書に必要書類を添付して提出すること（博士候補者資格論文の題目提出は不要）
 - ✓ 申請書については別途通知する
 - ✓ 申請提出時期は、博士候補者資格論文の提出と同一

論文作成セミナー（必修） 博士候補者ワークショップ（必修）

- 5月27日(水), 30日(土)／10月24日(土), 28日(水)予定
- 同じ時間帯に行われるが、聴講側と報告側で別の単位として認定

論文作成セミナー

成績評価：博士候補者ワークショップで必要数（6本）以上の報告に出席し，指定数（2本）の報告に関するレポートを提出

博士候補者ワークショップ

博士候補者資格論文合格者は原則として，直近の博士候補者ワークショップで報告

成績評価：報告が必須，良い博士論文につなげるために様々な教員や院生からの意見を聴く機会

その他の研究を学ぶ場

- 他の教員の助言
 - 論文指導委員会（博士候補者資格論文試験合格後）
 - 指導教員以外のゼミに参加（指導教員に相談）
 - 博士候補者ワークショップ
- 研究会・学会
 - 他の研究者がどのように研究成果を出したかを学ぶ
 - 各専門分野の学会（加入については指導教員と相談を）
- 論文投稿の査読コメント
 - 匿名の査読者による忌憚ないコメント
 - 指導教員やほかの人のコメントは，査読者からも来るかもしれない
- 博士論文発表会
 - 他の院生がどのように研究成果を出したかを学ぶ

博士論文の評価基準

1. 経営学に関する学術上の貢献が認められること。
2. 独創性あるいは創造性が認められること。
3. 論旨が明確かつ一貫し，構成の体系性が学術的に高い水準で確保されていること。
4. 資料および先行研究の取扱いが学術的に高い水準で適切であること。
5. 表現・表記法が適切であること。

(『2026年度便覧』 200頁)

(『2024年度便覧』 218頁)

研究資金の獲得・研究支援

研究には,

- ・ 書籍・PC
- ・ 調査
- ・ 学会発表旅費・参加費（海外，国内）
- ・ 英文校正・論文掲載料

等のために資金が必要

→ 競争的研究資金に応募して，研究する

後期課程進学者に対する研究支援

- 日本学術振興会特別研究員
- 神戸大学研究専念支援金制度（SPRING・BOOST）
- 日本学生支援機構の奨学金の返還免除内定制度
 - 博士後期課程入学時に，貸与終了時に決定する業績優秀者の返還免除を内定する制度
- その他（適宜情報提供します）
- 参考：ガイダンス後の院生協議会からの説明

JSPS（日本学術振興会） 特別研究員

「特別研究員」制度は優れた若手研究者に、その研究生生活の初期において、自由な発想のもとに主体的に研究課題等を選びながら研究に専念する機会を与えることにより、我が国の学術研究の将来を担う創造性に富んだ研究者の養成・確保に資することを目的として、大学院博士課程在学者及び博士の学位取得者で、優れた研究能力を有し、大学その他の研究機関で研究に専念することを希望する者を「特別研究員」に採用し、支援する制度です。

参考）月額20万円＋研究費

参考） https://www.jsps.go.jp/j-pd/pd_gaiyo.html

神戸大学学術研究推進機構学術推進室（URA）による支援情報

参考） <https://www.research.kobe-u.ac.jp/gksh-web/ura/service/application.html#gakushin>

異分野共創による次世代卓越博士人材育成プロジェクト（研究専念支援金制度 SPRING）

本プロジェクトでは、本学の博士課程後期課程に在籍する様々な分野の博士学生を数理・データサイエンスの素養を持ち、グローバルに学際領域で活躍できる卓越博士人材を育成し、トランスファラブルな素養を身につけさせる教育・研究を通して、社会に求められる高度専門人材の育成を目指します。

[支援内容]研究専念支援金230万円/年，研究費25万円/年+追加研究費や留学費

参考) https://www.career.kobe-u.ac.jp/doctor_info/jisedai.html

異分野協働・共創による次世代AI卓越博士人材育成プロジェクト(研究専念支援金制度 BOOST)

本プロジェクトでは、次世代AI分野を中心とした我が国の将来の科学技術・イノベーションを担う若手研究者の重層化・複層化に資することを目的として、バイオや材料を中心とした自然科学、人文・社会科学、生命科学など、他分野における高い専門性を活かしつつ次世代AI分野に貢献できる「次世代AI卓越博士人材」の育成を目指します。

[支援内容]研究奨励費390万円/年

参考) https://www.career.kobe-u.ac.jp/doctor_info/boost.html

研究科独自の支援

- 六甲台後援会大学院学生海外派遣支援
- 院生学会報告支援
（大学院生の学会報告に対する経費支援※）
- 院生論文投稿支援
（大学院生に対する論文投稿に関する支援※）
- 優秀国際論文賞
（WoS登録の国際学術誌への論文掲載の賞）

※ 大学院生協議会（神戸大学大学院経営研究会）からの寄附を資金として運用しています。

研究倫理を遵守すること(1)

- 大学院生は「研究者」
- 「研究者」は「研究不正行為」を行ってはいけません
 - 剽窃，捏造，改ざん，盗用など
- 授業や学位論文において研究不正行為が行われれば（指導教員にはすぐ分かります），単位取り消しや学位取消等の重い処分
- 海賊版のソフトウェアの使用禁止

参考) <https://www.kobe-u.ac.jp/research/system/academic-norms/index.html>

研究倫理を遵守すること(2)

- 経営学研究科「レポート・論文作成時における剽窃防止ガイドライン」を熟読のこと
 - インターネットや情報技術の発展が悪質な不正行為を生み出している側面があります
 - 学位論文（博士論文，修士論文，卒業論文），定期試験・到達度確認，レポート等における盗用等
 - https://b.kobe-u.ac.jp/phd_files/prevention_guideline2.pdf
 - 本研究科・学部でも学生が重い処分を受けた例

研究倫理を遵守すること(3)

- 2022年度より，神戸大学のすべての大学院生は，専攻分野の特性に応じて，研究者倫理に関する知識及び技術を身に付けていただく必要があるため，eラーニングによる研究倫理教育を受講することを義務付け
- 準備ができましたら受講に関する通知をしますので必ず受講すること

【参考：神戸大学における研究倫理教育について】

https://www.kobe-u.ac.jp/research/system/academic-norms/research_ethics_education.html

大学教員になるには

- 公募形式が主流になりつつある
 - 1つのポジションに全国の博士号取得者が応募
 - 競争するときの武器は研究業績（学術論文，学会発表等）
 - 査読論文掲載実績のある競争相手もいる（博士の学位取得の要件にしている大学もある）
- 教育歴を重視する大学も増加
 - TA (teaching assistant), STA (senior teaching assistant), RA (research assistant)も実績になる
- 自分の研究を端的にわかりやすく伝える訓練
- **ハゲタカジャーナルやハゲタカ学会**には注意

教務関連について

教務関連システム

[1] 神戸大学教務情報システム：うりぼーネット

- 授業履修登録，履修の取り消しの手続き，成績の確認
- <https://kym22-web.ofc.kobe-u.ac.jp/campusweb>

[2] 神戸大学学習支援システム：BEEF+

- 授業資料のダウンロード，レポートの提出，授業の質疑応答，など授業の実施に関わるリソースの集約
- <https://beefplus.center.kobe-u.ac.jp/>

[3] 経営学研究科メンバーサイト

- 総合学力試験，論文題目の申請，論文提出
- <https://b.kobe-u.ac.jp/member/>

指導教員の申請・決定

ステップ1：説明会出席

- 希望する指導教員のゼミ・ゼミ説明会出席
(第2希望以降の教員の説明会にも参加すること)
- 分からないことを，教員に直接確認する
- 4月6日（月）から10日（金）

ステップ2：希望申請書提出

- 指導教員の希望申請書を教務グループに提出
- 第1希望から第5希望（後期課程は第3希望）まで書くこと
- 申請期間：4月6日（月）～4月13日（月）17時

ステップ3：結果の通知

- 4月下旬に決定し次第，結果を通知

大学院での学び方の参考資料等

- 規則と手続き
 - 『2026年度学生便覧』 31-91頁, 171-229頁
 - 『2024年度学生便覧』 30-91頁, 186-248頁
- Ph.D.コースの設計, 学び方 (規則, 手続の意図も分かる)
 - 『2026年度学生便覧』 231-256頁
 - 『2024年度学生便覧』 250-271頁
- 科目の内容と履修計画の立て方
 - 『履修要綱』 (特に, 履修計画の立て方は8-21頁)
- 研究指導教員とよく相談すること
- 『経営学の歩き方』 (神戸大学経済経営学会)

後期課程の履修の考え方を述べましたが、あなたが経営学研究科博士課程後期課程の教育をあなたのその後の研究者生活で十分に活かすことができるようになるには、それと並んで重要なことがあります。それは、あなたが研究者として生きることには喜びを感じることができるかどうかということです。その喜びは、経営学上の発見をすることからもたらされるものです。研究に喜びを見いだせなければ、教育を通じて研究能力を身につけたとしても、その能力をあなたの人生において十分には発揮できないでしょう。したがって、経営学研究科の5年間の生活を通じて、研究することの喜びを見だし、確認することが、教育を受け、能力を身につけることと同様に重要です。

(『2026年度便覧』 245頁)

(『2024年度便覧』 263頁)